

1. はじめに

この CD-ROM は本編「建築材料の熱・空気・湿気物性値」に収録されている物性データを，編訳者たちが評価・検討した結果を，「応用編」という形で公開するためのものである．評価・検討の過程で使ったツールを併せて収録することで，自ら物性データを用いて数値解析を行おうという読者の便がはかれると考えた．編訳者たちはこの CD-ROM を本編の「付録」ないしは「おまけ」ととらえており，その体裁に関しては比較的自由的な気分で編集にあたった．あらかじめご了解いただければ幸いである．

物性データを用いて熱水分移動の解析を行う際には，データの加工やプログラミングが必要となる．これまで，熱水分同時移動に関する基礎的な理論を記述した書物は出版されてきたが，具体的なデータの処理方法やプログラムそのものが公開されることはまれで，各研究者の手の内にとどまりがちであった．そこで今回は，読者が自身の目的に応じたソフトウェアを開発する際の参考になればとの意図で，データ加工のツールや数値計算プログラムを収録することとした．具体的な問題は多様であり，そのすべてに対応するツールを提供することは本 CD-ROM の守備範囲を超えている．これらの意図を十分にご理解いただきたい．

概要は以下の通りである．

- ・ 本編に掲載されている物性値のテキストデータファイル
- ・ 本編に掲載されている物性値を図上にプロットしたものと近似関数の一例
- ・ データベースユーティリティ
- ・ 物性値評価のための標準問題の定式化，解析プログラム（フォートラン言語），解析例

なお，この CD-ROM に収録された内容は，日本建築学会 環境工学委員会 熱環境小委員会 熱規格・標準化及び教育WG 熱湿気定数サブワーキンググループ（設置期間：1997 年 4 月より 4 年間）における活動の成果の一部であることを付記する．